

晶癖の工学

多形・組織制御で拓く協創結晶科学

結晶を作っていると、意図せず不思議な構造や美しい形が出来上がったことが無いでしょうか？

自然や生命の中に存在する天然鉱物は、形成機構や造形の多様性から、結晶の成り立ちに対する豊富な知見を与えてくれます。従来扱われることのなかった結晶多形・組織を解読し、近年のナノテクノロジー・結晶成長・構造評価技術を駆使してそれらを制御することで、新しい結晶設計の指針を探ります。

日時 2021年3月16日(火) 9:00-16:00 オンライン開催

招待講演者・講演題目(仮題)

大藤 弘明 (東北大)

微細組織から探る鉱物の結晶化・組織化プロセス

川野 潤 (北海道大)

蛍光プローブによる結晶形成/溶解場の可視化

越後 拓也 (秋田大)

鉱山や火山に産する非常識な鉱物結晶

丸山 美帆子 (大阪大)

医薬品開発における結晶の多形制御とその戦略

舘林 潤 (大阪大)

超スマート社会実現に資するナノワイヤフォトニクスの開拓

藤平 哲也 (大阪大)

複合顕微鏡アプローチによる機能性結晶のマルチスケール構造・物性解析

金子 健太郎 (京都大)

準安定相および非平衡系材料の合成と新規機能開拓

大曲 新矢 (産総研)

ダイヤモンド結晶中への金属原子ドーピングとエレクトロニクス展開

世話人：石川 史太郎 (愛媛大), 富永 依里子 (広島大)

調整役：舘林 潤 (大阪大)